

## 馬場駿 同人誌小説の軌跡

タイトル	発表	掲載	備考
耄老(ぼうろう)の海	1997	羅2	富裕になった老女が困窮した命の恩人の許に向かう
色あせたデコイ	1997	岩漿1	薄幸な夫殺しの女が更生できなくなった事件とは
桶胴	1998	羅3	台詞皆無の小説を試みて創った和太鼓と女の出会い
夢の海	1998	岩漿2	両親自殺で遺された兄妹の人倫超越の凄絶な人生
身一つ庵	1998	岩漿3	夫婦不仲で旅に出た男が泊まった風変わりな宿で
タリオンに背いて	1999	岩漿4	全く不知の間に負の遺産を相続させられた男の末路
淡(まみず)に遊ぶ	1999	岩漿5	刹那的男女関係のあまりにも早い蹉跌
孤往記(こおうき)	1999	岩漿5	天涯孤独になった男の挫折と成長、昭和時代の青春
ツール	2000	岩漿6	悪魔的な美少女と心理学専攻の女院生の頭脳戦
薪樵(たきぎこ)る	2000	岩漿7	男が幻想と現の中で古都鎌倉を彷徨い行きつく先は
濃藍(こあい)の海から	2001	岩漿8	応募作として創るも、基本ルールを破る苦み
心の音	2002	岩漿9	離婚後に事件が夫の罨だと知る「子を産めない女」
兵庫無慙(むざん)	2002	岩漿10	太田道灌を斬った男の苦悩を暗殺当日に特化して
狗・前編	2003	岩漿11	SPの元妻が拾った男が法相を襲い元夫が男を射殺
狗・後編	2004	岩漿12	秘密を知った彼女が撃たれ元夫は黒い世界に挑む
冷川峠	2005	岩漿13	そば屋の親父と花屋の店員に医師が絡んだ恋の話
心理の開鎖	2006	岩漿14	ホテルの機械設備を駆使した殺人事件が生まれた
戯れる木霊	2007	岩漿15	最愛の男を失った女の自暴自棄と幻想の時間は
死なない蟻の群れ	2008	岩漿16	女には気づかない「女」を創ったと評された
空に映る海の色	2009	岩漿17	会社経営を迫られる男と子持ちの海の女の「恋」
やさしい姫鼠	2010	岩漿18	寮で自殺した少女が老いた総務担当を死へと導く
孤往記最終章	2011	岩漿19	これで終わらないことに気づきながらの最終章
閼伽(あか)桶胴	2012	岩漿20	「桶胴」を台詞入りに代えての増訂作品
雪積む密(しきみ)	2013	岩漿21	私小説風。亡き母の本音をまさぐる追憶の世界
くぐもり声	2014	岩漿22	利き手の指を失った男の絶望が創る雪の断章
傾いた鼎・全編	2015	岩漿23	3人の若者が過ごした共通の時間は凄絶だった
現姥捨	2016	岩漿24	2025年、近未来の高齢化社会の「地獄」を描く
ヘクソカズラの遺産	2018	岩漿26	事故か自死か夫殺しか、妻には夫の遺志が解らない
逮夜の女	2019	岩漿27	別れた年下の彼の通夜、添い寝の女は朝死因を知る